

福井県内企業景気動向調査 調査結果

(2020年10~12月 当期(実績))
(2021年1~3月 次期(見通し))

株式会社 福井銀行 コンサルティンググループ
株式会社 福井キャピタル&コンサルティング

【調査の目的】

福井県内企業のみなさまにアンケート調査を行うことにより、景気動向(県内企業の現在の経営環境や今後の見通し)について情報提供いただき、共有することで、今後のみなさまの経営に少しでも役立てていただくことを目的としております。

【調査概要】

- ・調査対象企業 福井県内の企業 1,360社
- ・回答企業 382社 (回答率 28.1%)
- ・調査時期 2020年12月初旬

【D I 調査について】

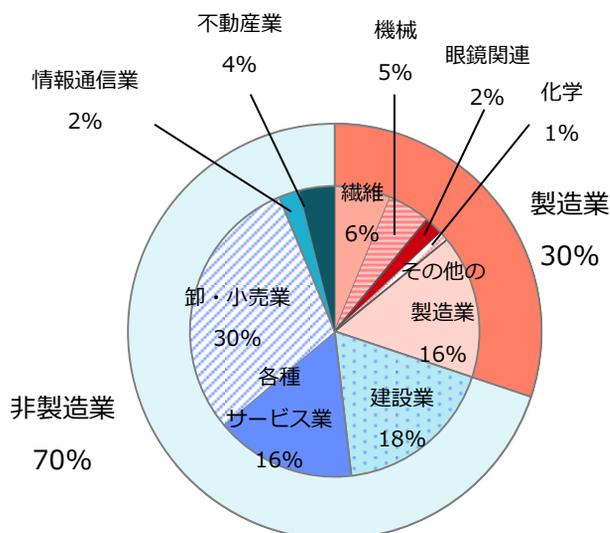
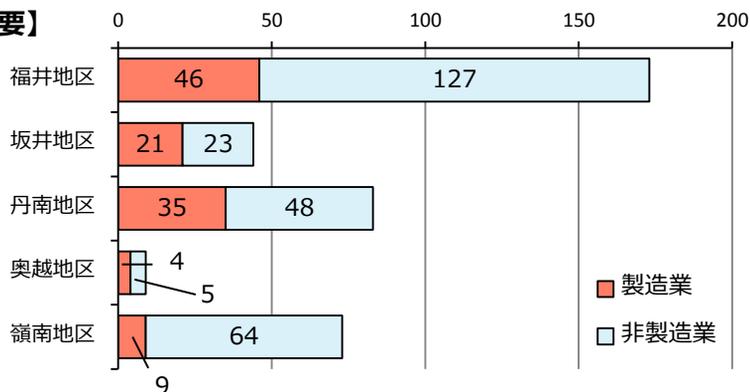
このアンケート調査では、D I (Diffusion Index)による分析を行っております。D Iは、「好転」と回答した企業の割合と「悪化」と回答した企業の割合との差を求めたものです。景気が良い場合はプラス幅が大きくなり、景気が悪化している場合はマイナス幅が大きくなります。

※ 原材料価格、在庫状況については、「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合との差を求めており、上記の判断とは逆の傾向を示します。

【特別調査について】

例年10~11月期は、「経営上当面の問題」と「今後の経営方針」について調査を行っております。「経営上当面の問題」は、調査開始以来、常に最も多かった「人材・人手不足」を「販売・受注の停滞、減少」が上回りました。

【回答企業の概要】



全体の景況判断は、売上や収益は回復傾向にあるものの低い水準で推移し、業績判断D Iは前回調査のマイナス58から大幅に上昇したもののマイナス36となり、依然としてマイナス圏に留まった。前回予想のマイナス33を下回った。また、来期はマイナス30を予想し、引き続き、回復傾向にあるもののマイナス圏に留まる見通しである。

業種別にみると、製造業では、繊維は前回調査から大幅に上昇したものの依然として低い水準でマイナス圏に留まった。機械、その他製造業は売上、収益ともに回復傾向となり前回調査から大幅に上昇したものの依然としてマイナス圏に留まった。眼鏡は前回調査から上昇したものの依然として低い水準でマイナス圏に留まった。化学は売上、収益ともに回復傾向となり前回調査から大幅に上昇しプラスマイナス0となった。全体としては、回復傾向にあるものの、プラスマイナス0となった化学を除きマイナス圏で推移した。

非製造業では、建設業は前回調査からやや低下しマイナス幅を広げた。各種サービス業、卸・小売業は売上、収益ともに回復傾向となり前回調査から大幅に上昇したもののマイナス圏に留まった。情報通信業、不動産業は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス圏に留まった。全体としては、建設業を除き回復傾向にあるものの、マイナス圏で推移した。

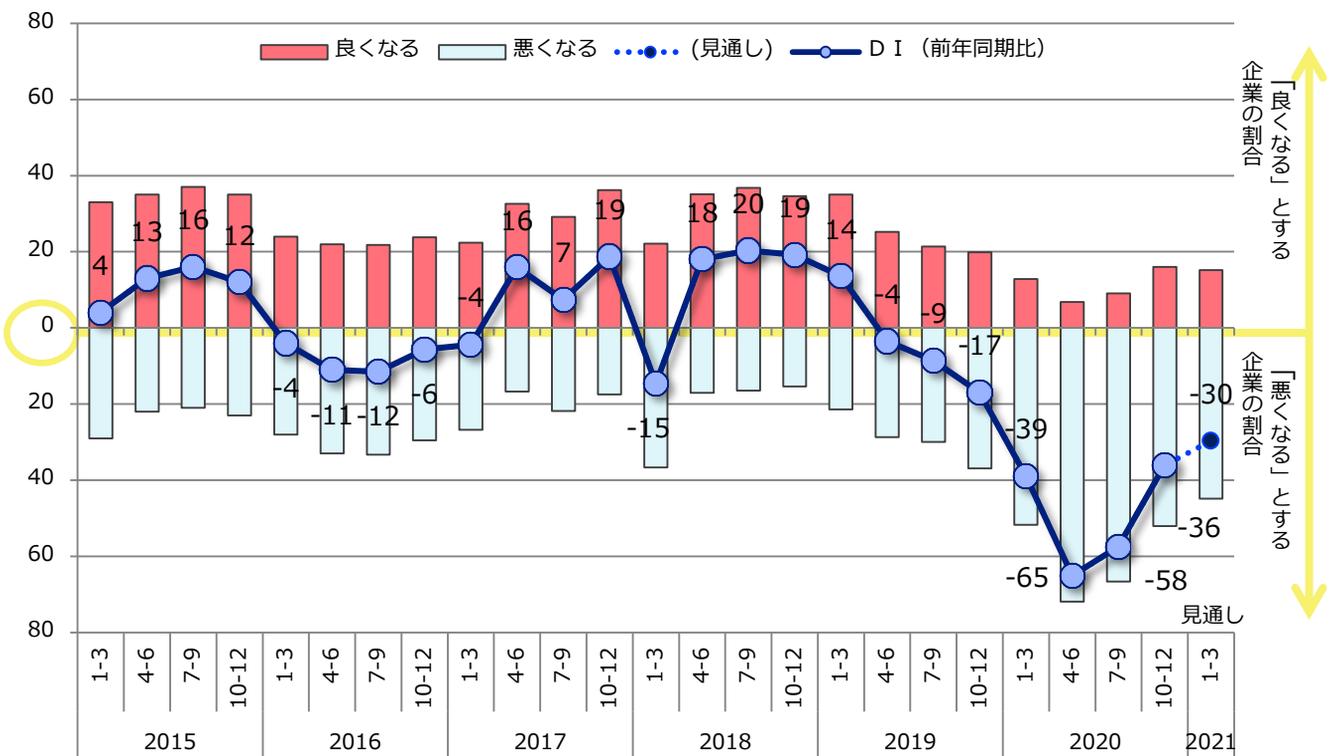
地域別にみると、福井地区、坂井地区、丹南地区、嶺南地区は大幅に上昇したものの依然としてマイナス圏に留まった。奥越地区はほぼ横ばいとなりマイナス幅を広げた。

先行きは、製造業では、繊維、眼鏡は大幅な上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。機械、その他製造業は上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。化学は大幅な上昇を予想しプラス圏に転じる見通しである。

非製造業では、建設業は大幅な低下を予想しマイナス幅を広げる見通し。各種サービス業は大幅な上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。卸・小売業は上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。情報通信業、不動産業は大幅な上昇を予想しプラスマイナス0となる見通しである。

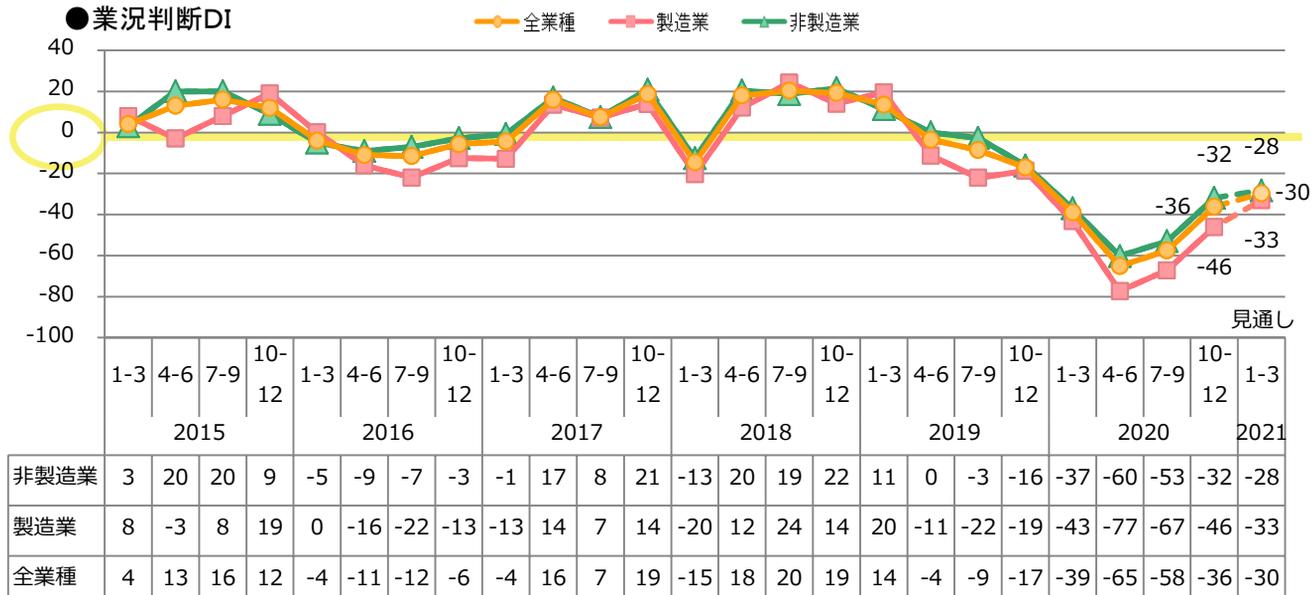
個別企業のコメントでは、前回に引き続き新型コロナウイルスによる社会や経済への影響を懸念する意見が大半を占めた。

●自社の業況判断D Iの推移

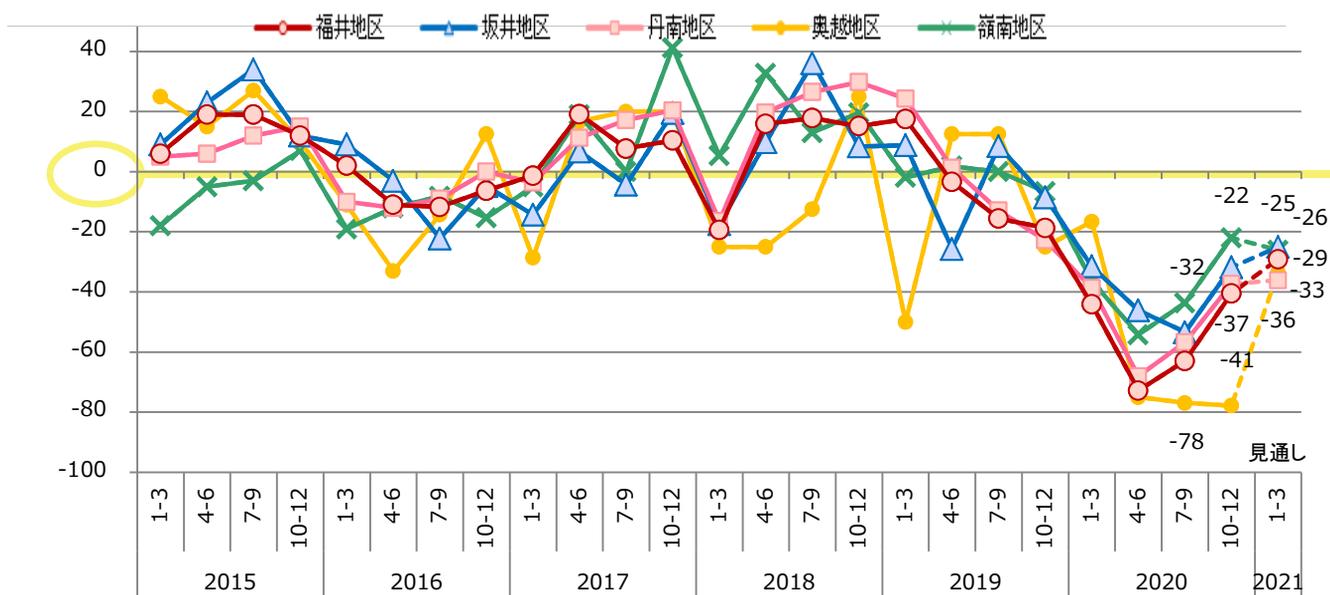


- 業況判断DIは、前回調査から大幅に上昇したもののマイナス36となり、依然としてマイナス圏に留まり、7四半期連続でマイナスとなった。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス46となり、依然としてマイナス圏に留まった。非製造業は大幅に上昇したもののマイナス32となり、依然としてマイナス圏に留まった。
- 先行きは、製造業は大幅な上昇を、非製造業は上昇を予想するものの依然としてマイナス圏に留まる見通しである

●業況判断DI

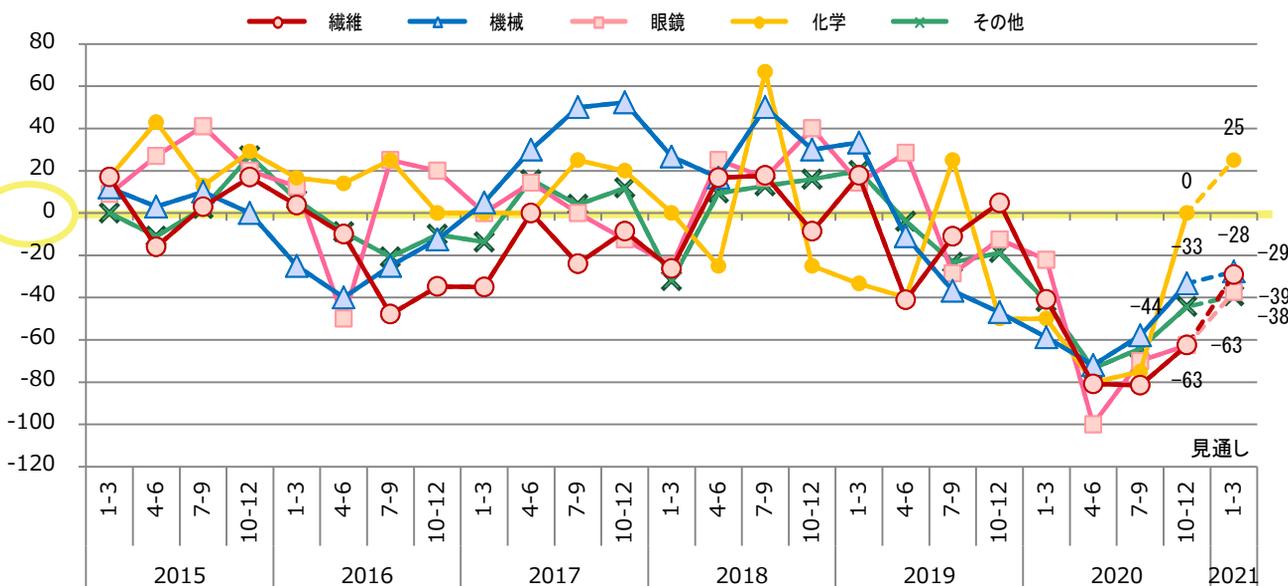


●地域別業況判断DI



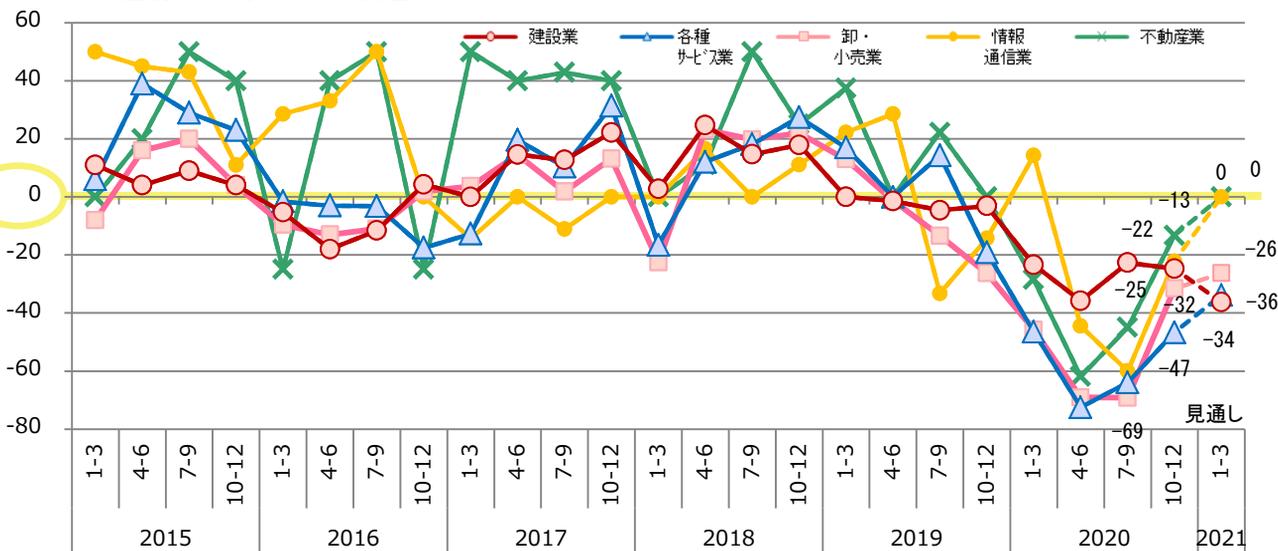
- 地域別では、福井地区は大幅に上昇したもののマイナス41となり、マイナス圏に留まった。坂井地区は大幅に上昇したもののマイナス32となり、マイナス圏に留まった。丹南地区は大幅に上昇したもののマイナス37となり、マイナス圏に留まった。奥越地区はほぼ横ばいのマイナス78となり、マイナス圏に留まった。嶺南地区は大幅に上昇したもののマイナス22となり、マイナス圏に留まった。
- 先行きは、福井地区、坂井地区、奥越地区は上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。丹南地区はほぼ横ばいを予想しマイナス圏に留まる見通し。嶺南地区は低下を予想しマイナス幅を広げる見通しである。

●業種別業況判断DI(製造業)



- 製造業では、織維は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス63となり、マイナス圏に留まった。機械は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス33となり、マイナス圏に留まった。眼鏡は前回調査から上昇したもののマイナス63となり、マイナス圏に留まった。化学は前回調査から大幅に上昇しプラスマイナス0となった。その他製造業は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス44となり、マイナス圏に留まった。
- 先行きは、織維、眼鏡はともに大幅な上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。機械、その他製造業はともに上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。化学は大幅な上昇を予想しプラス圏に転じる見通しである。

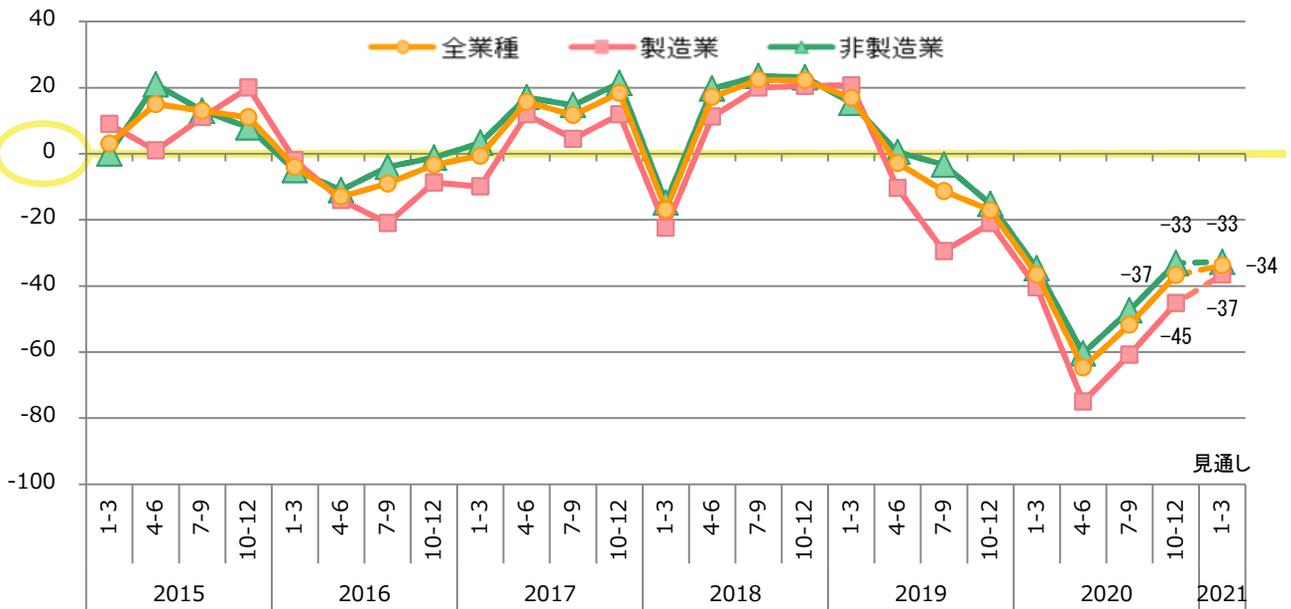
●業種別業況判断DI(非製造業)



- 非製造業では、建設業は前回調査からやや低下しマイナス25となり、マイナス幅を広げた。各種サービス業は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス47となり、マイナス圏に留まった。卸・小売業は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス32となり、マイナス圏に留まった。情報通信業は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス22となり、マイナス圏に留まった。不動産業は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス13となり、マイナス圏に留まった。
- 先行きは、建設業は大幅な低下を予想しマイナス幅を広げる見通し。各種サービス業は大幅な上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。卸・小売業は上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。情報通信業、不動産業は大幅な上昇を予想しプラスマイナス0となる見通しである。

売上(工事)高

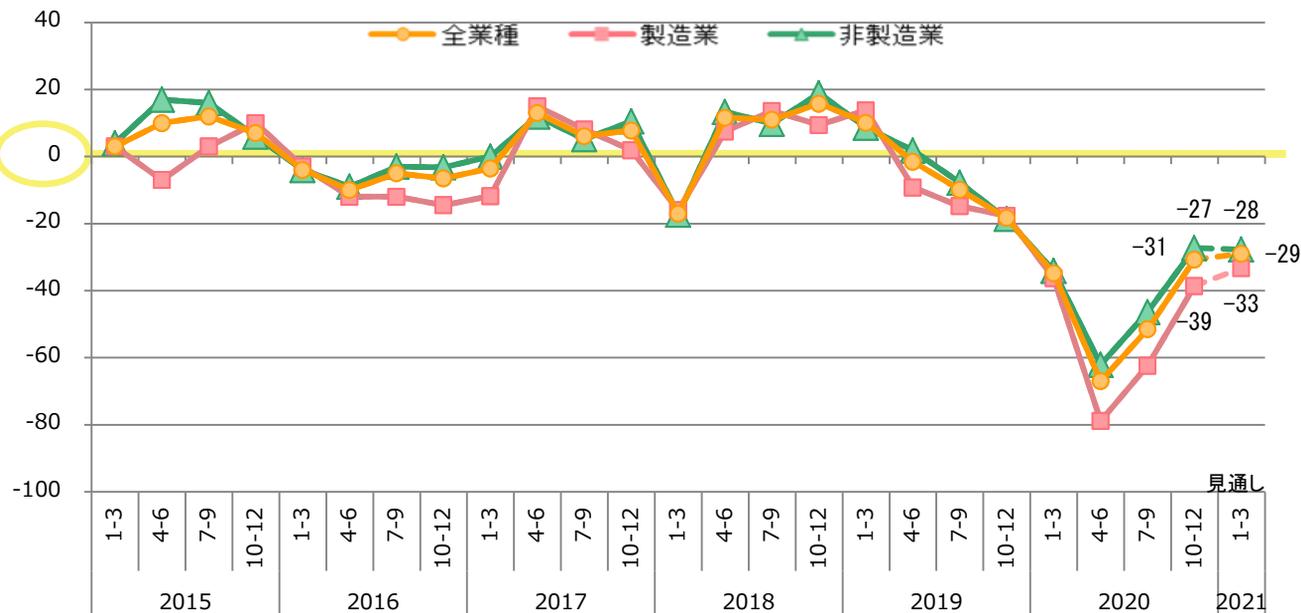
増加する—減少する



- 売上(工事)高DIは、前回調査から大幅に上昇したもののマイナス37となり、依然としてマイナス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査から大幅に上昇したものの依然としてマイナス圏に留まった。
- 先行きは、製造業は上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。非製造業は横ばいを予想しマイナス圏に留まる見通しである。

収益状況

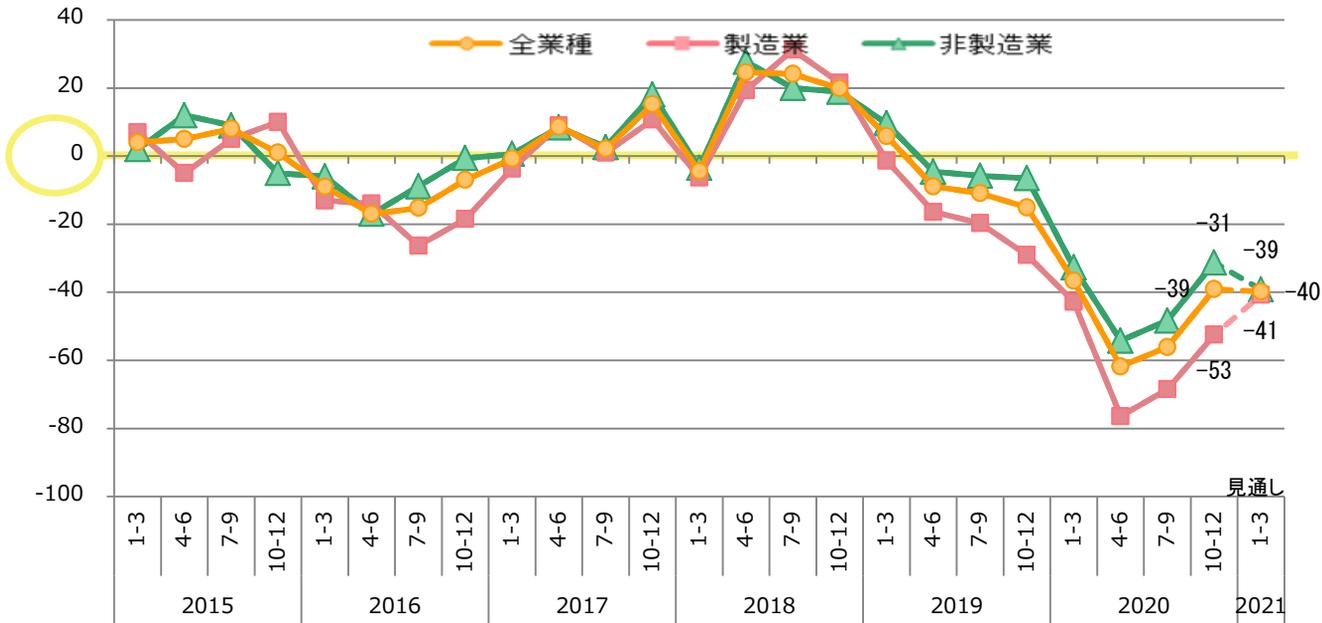
良くなる—悪くなる



- 収益状況DIは、前回調査から大幅に上昇したもののマイナス31となり、依然としてマイナス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査から大幅に上昇したものの依然としてマイナス圏に留まった。
- 先行きは、製造業は上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。非製造業はほぼ横ばいを予想しマイナス圏に留まる見通しである。

受注残高

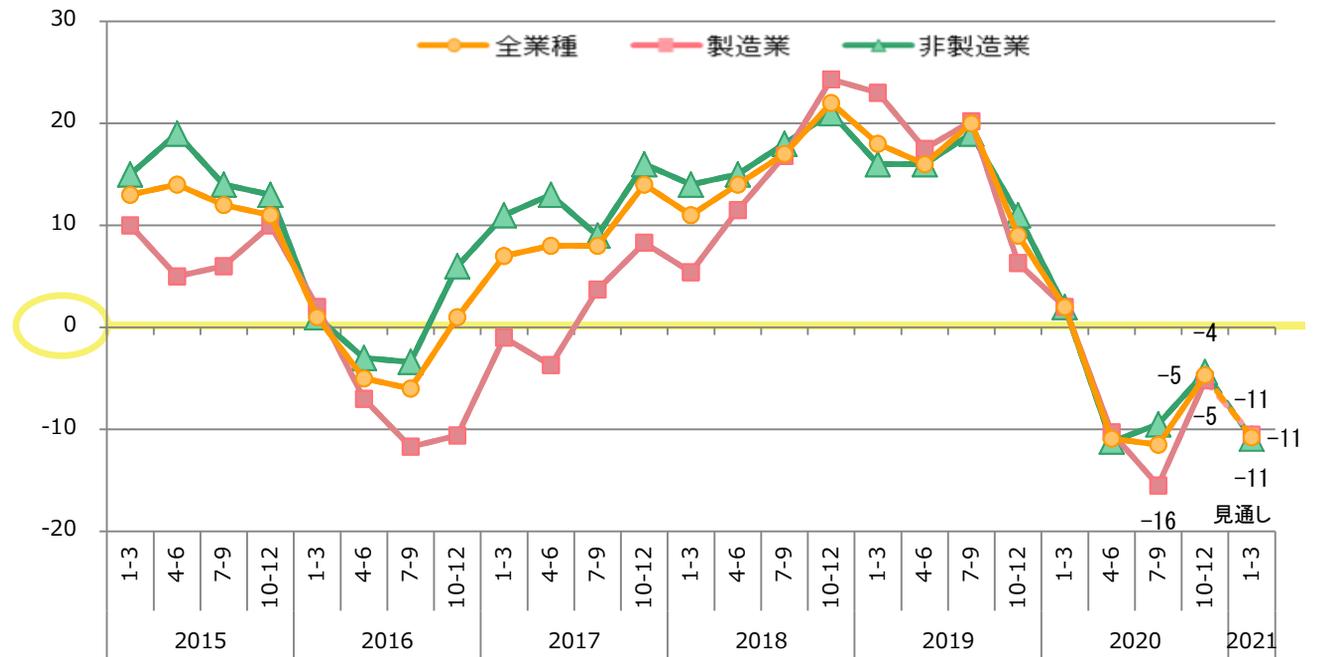
多い—少ない



- 受注残高DIは、前回調査から大幅に上昇したもののマイナス39となり、依然としてマイナス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査から大幅に上昇したものの依然としてマイナス圏に留まった。
- 先行きは、製造業は大幅な上昇を予想するもののマイナス圏に留まる見通し。非製造業は低下を予想しマイナス幅を広げる見通しである。

製(商)品販売価格

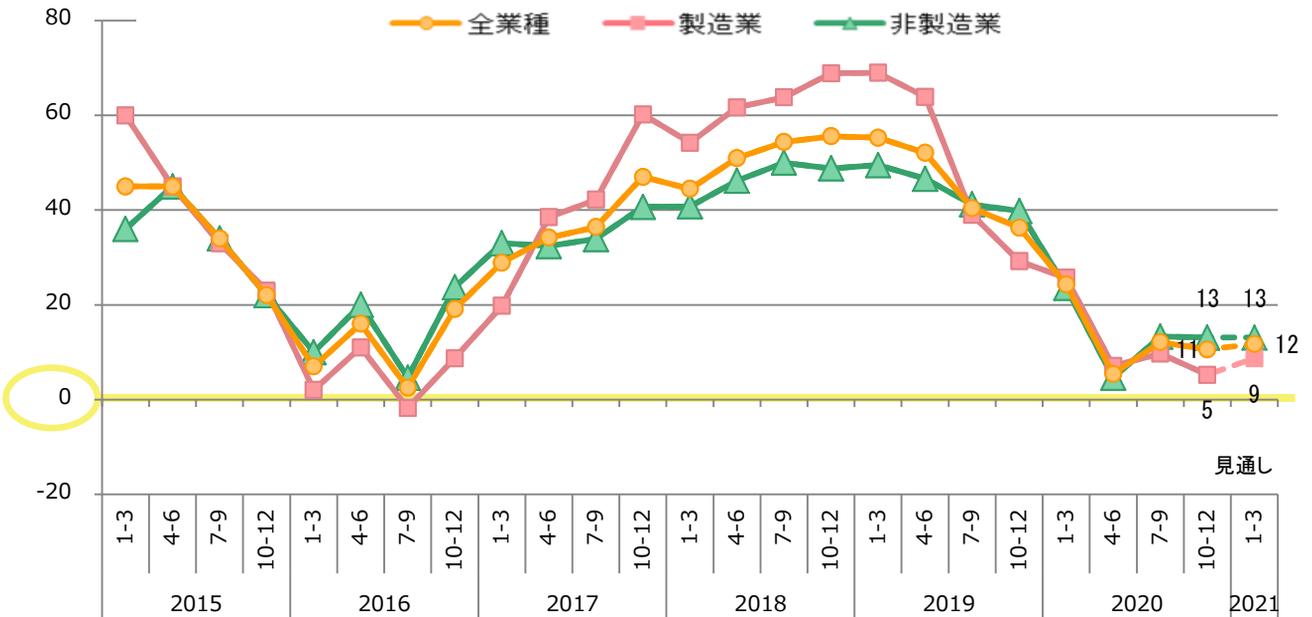
上昇—低下



- 製(商)品販売価格DIは、前回調査から上昇したもののマイナス5となり、マイナス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス圏に留まった。非製造業は前回調査から上昇したもののマイナス圏に留まった。
- 先行きは、製造業、非製造業ともに低下を予想しマイナス幅を広げる見通しである。

原材料(仕入・資材)価格

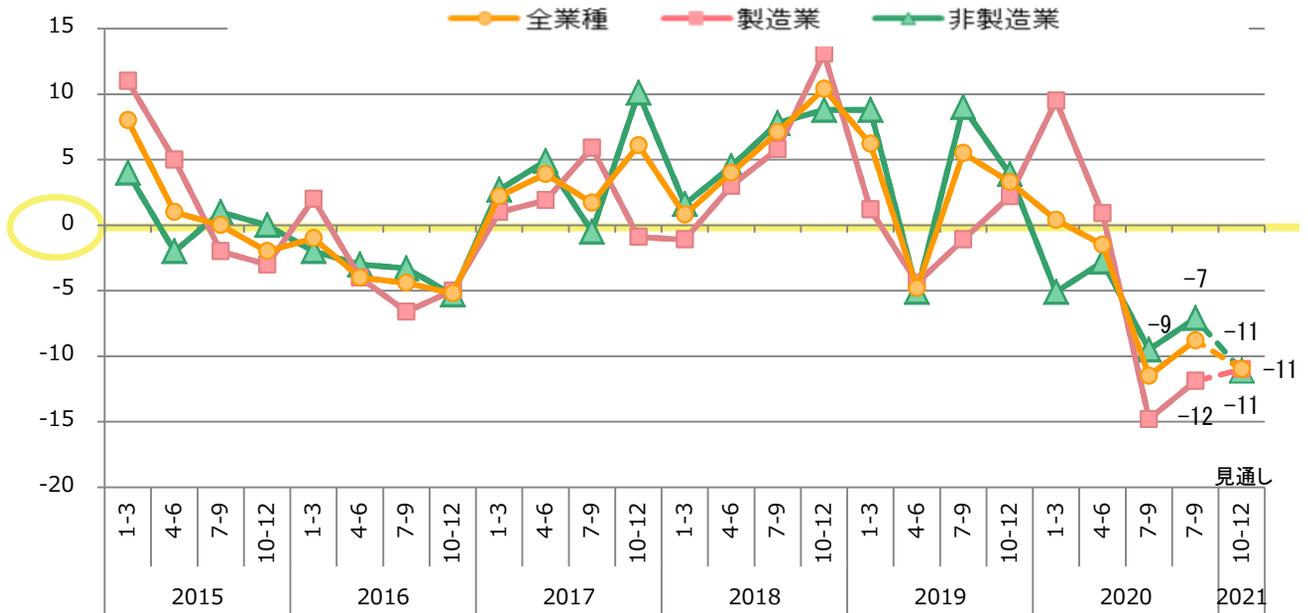
上昇—低下



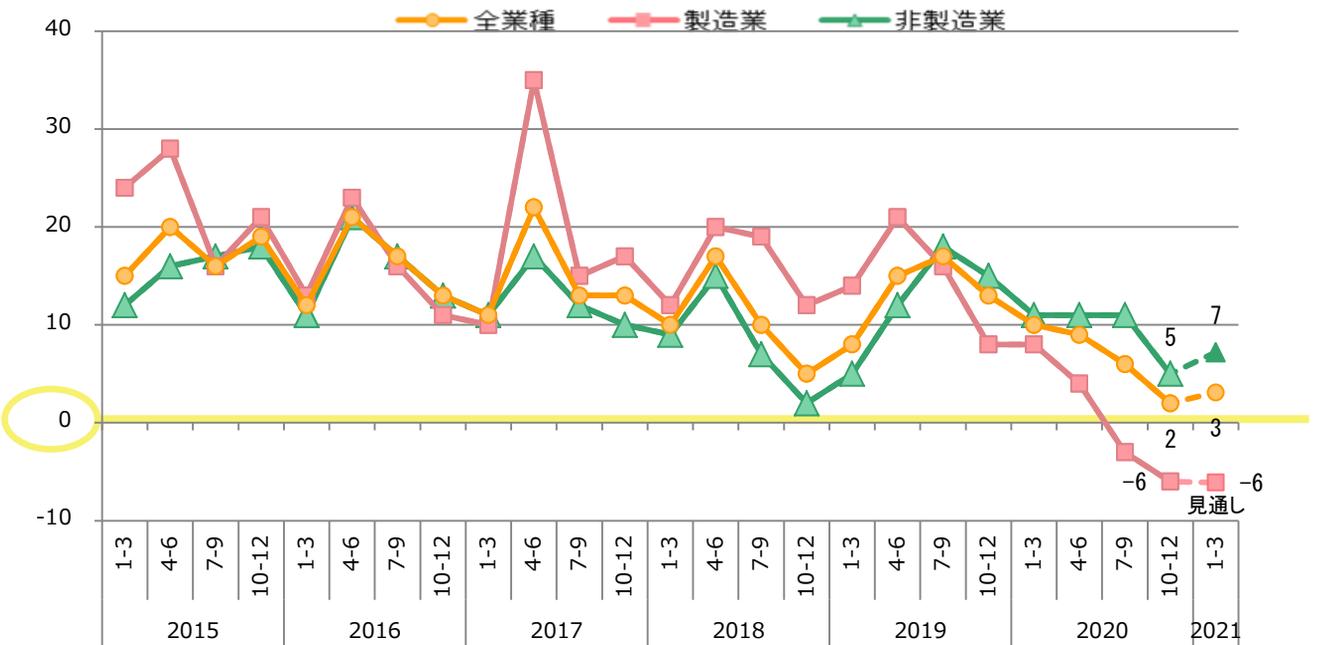
- 原材料(仕入・資材)価格D Iは、前回調査からほぼ横ばいのプラス11となり、プラス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から低下しプラス圏に留まった。非製造業は前回調査から横ばいとなりプラス圏に留まった。
- 先行きは、製造業は上昇を予想しプラス圏に留まる見通し。非製造業は横ばいを予想しプラス圏に留まる見通しである。

在庫

多い—少ない

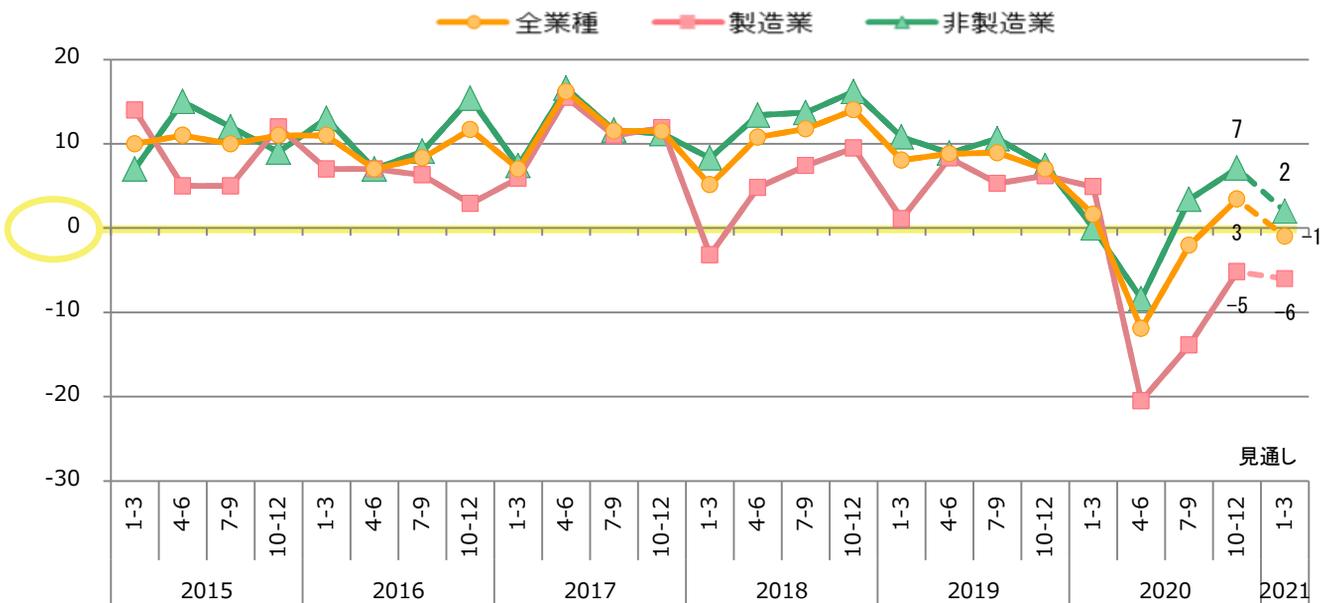


- 在庫D Iは、前回調査から上昇しマイナス9となり、マイナス圏に留まった。
- 業種別にみると、製造業、非製造業ともに前回調査から上昇しマイナス圏に留まった。
- 先行きは、製造業はほぼ横ばいを予想しマイナス圏に留まる見通し。非製造業は低下を予想しマイナス幅を広げる通しである。



- 雇用者数DIは、前回調査から低下しプラス2となり、プラス圏を維持した。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から低下マイナス幅を広げた。非製造業は低下したもののプラス圏を維持した。
- 先行きは、製造業は横ばいを予想しマイナス圏に留まる見通し。非製造業は上昇を予想しプラス幅を広げる見通しである。

資金繰り



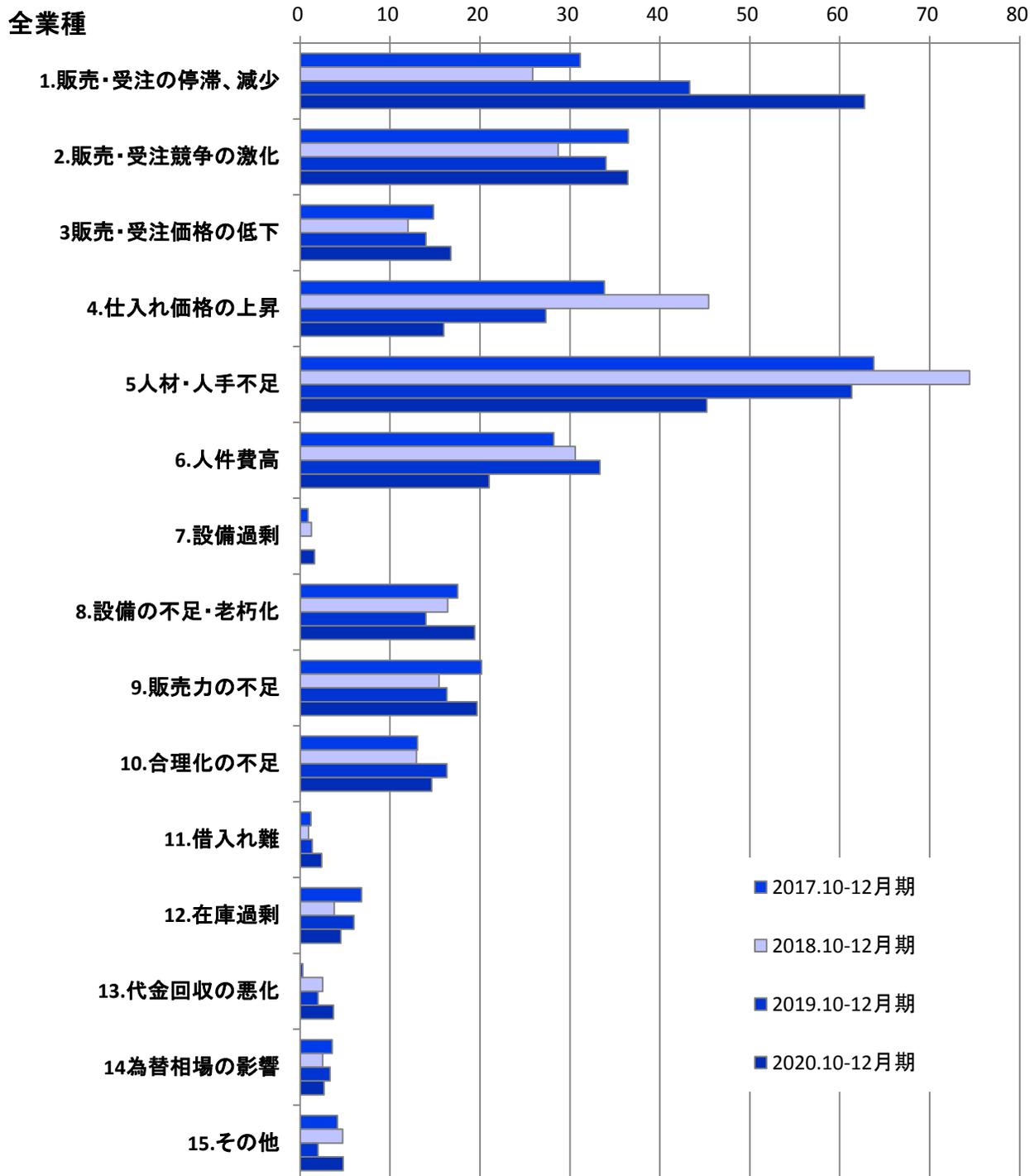
- 資金繰りDIは、前回調査から上昇しプラス3となり、プラス圏に転じた。
- 業種別にみると、製造業は前回調査から大幅に上昇したもののマイナス圏に留まった。非製造業は前回調査から上昇しプラス幅を広げた。
- 先行きは、製造業はほぼ横ばいを予想しマイナス圏に留まる見通し。非製造業は低下を予想するもののプラス圏を維持する見通しである。

経営上の問題について①

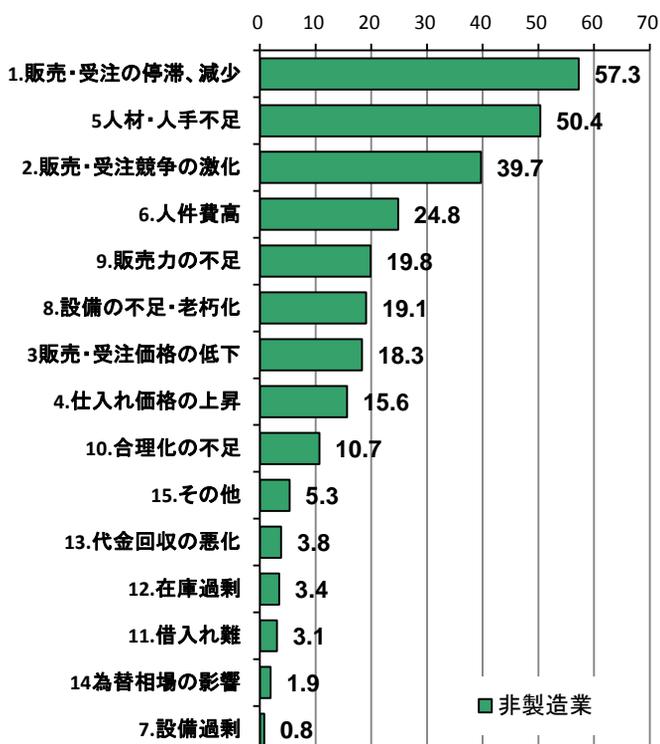
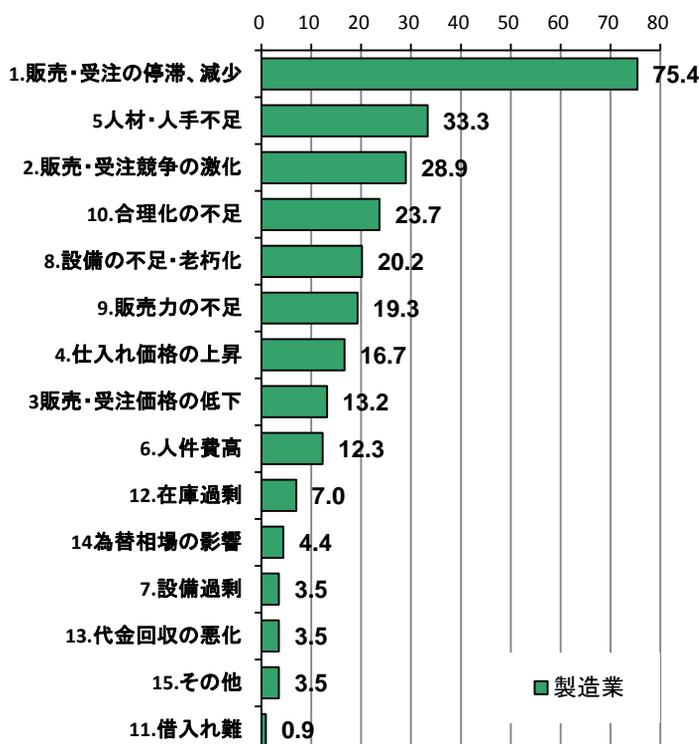
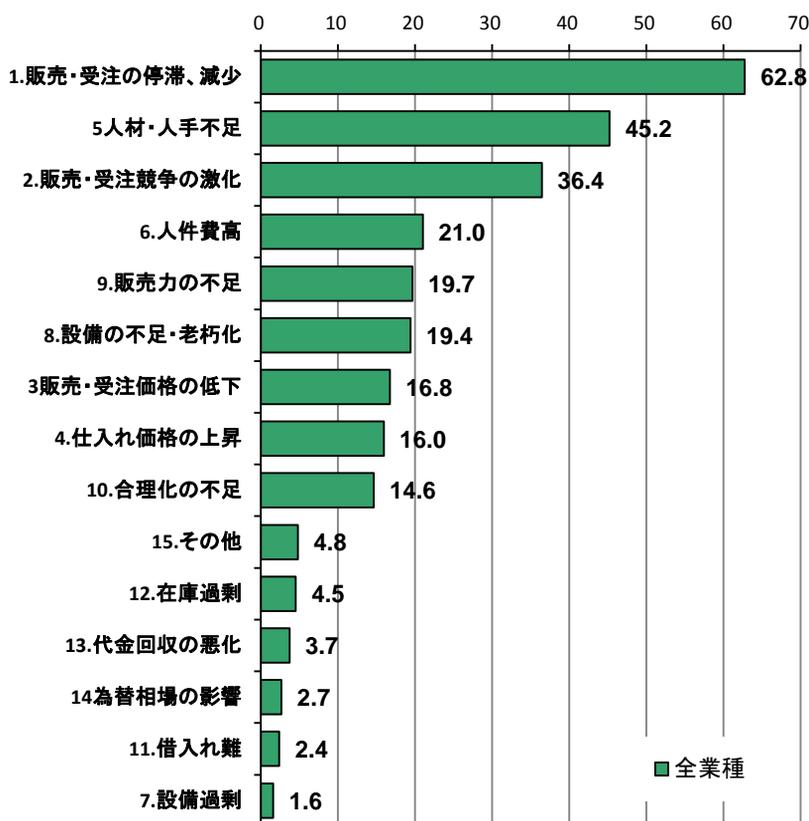
◆「販売・受注の停滞、減少」が最も多い。

全業種で、「販売・受注の停滞、減少」が62.8%と最も多く、「人材・人手不足」45.2%、「販売・受注競争の激化」36.4%と続いた。調査開始以来、常に最も多い問題点とされていた「人材・人手不足」を「販売・受注の停滞、減少」が上回った。

業種を問わず、同じ傾向となった。



経営上当面の問題について②

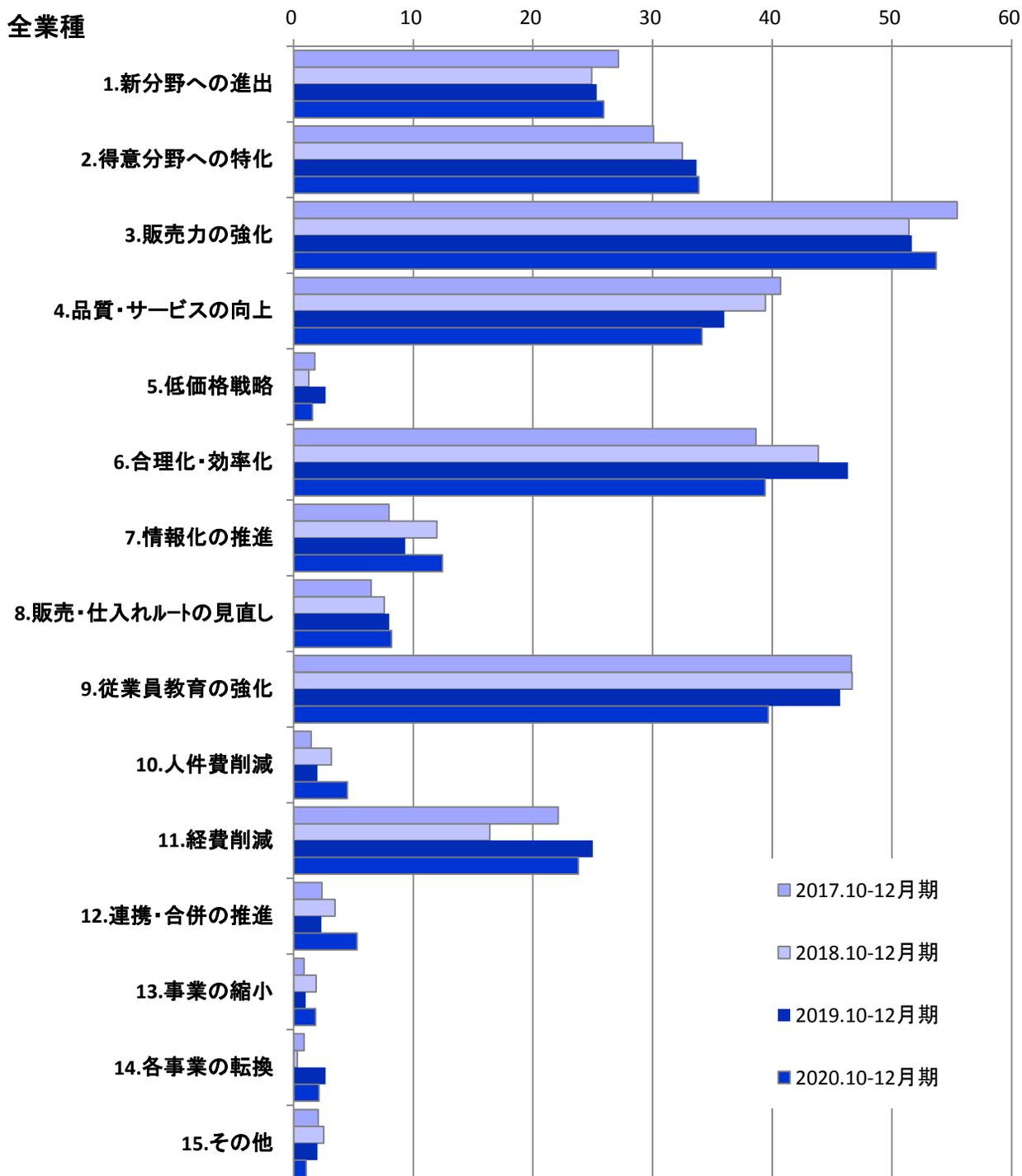


今後の経営方針について①

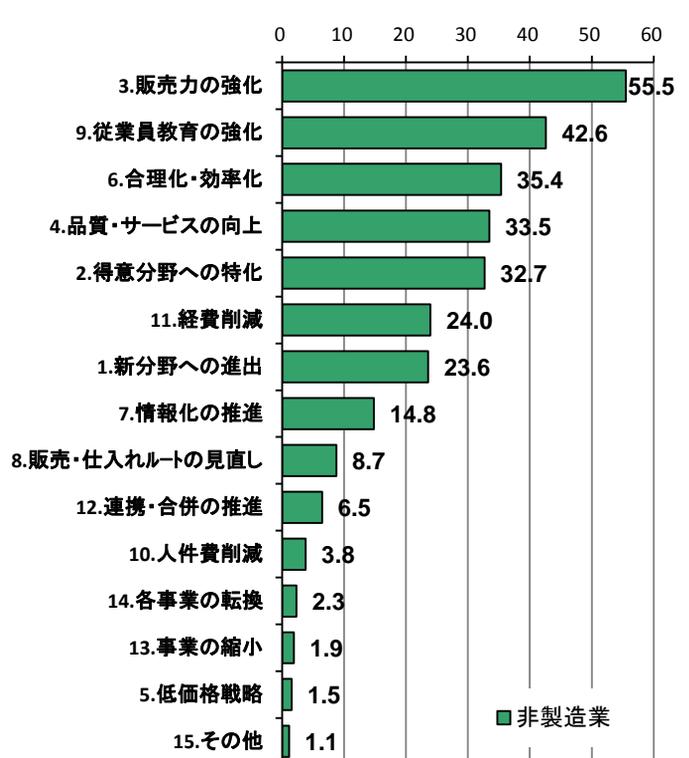
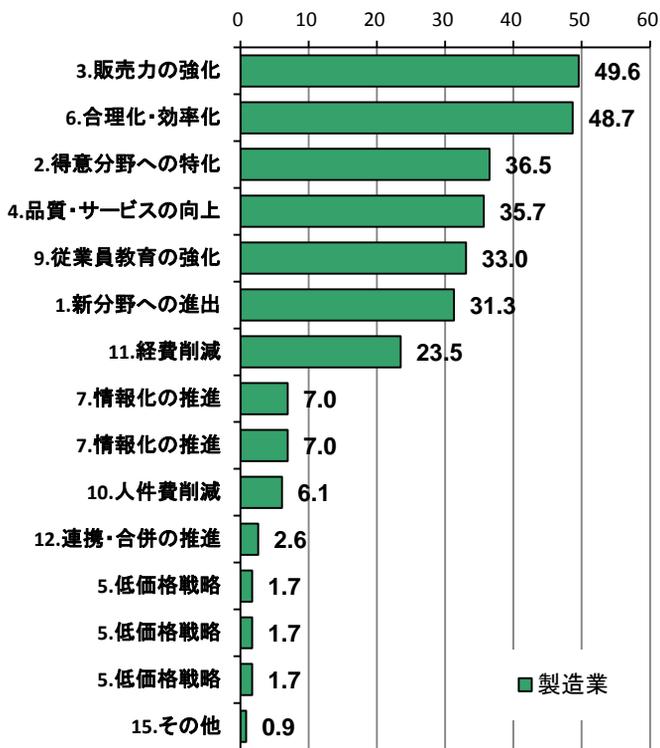
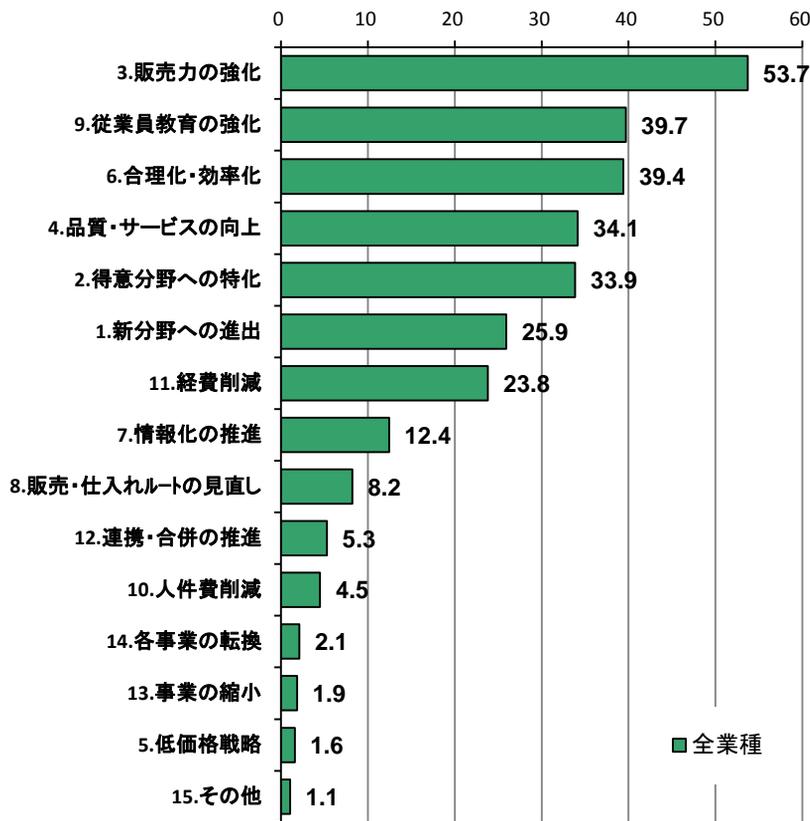
◆「販売力の強化」が最も多い

全業種で、「販売力の強化」が53.7%と最も多く、「従業員教育の強化」39.7%、「合理化・効率化」39.4%と続いた。

製造業では、「販売力の強化」、「合理化・効率化」、「得意分野への特化」と続き、非製造業では、「販売力の強化」、「従業員教育の強化」、「合理化・効率化」と続いた。

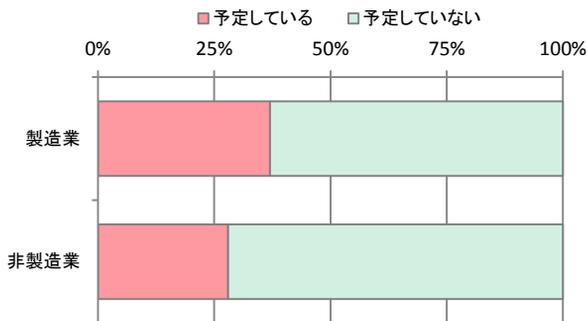


今後の経営方針について②

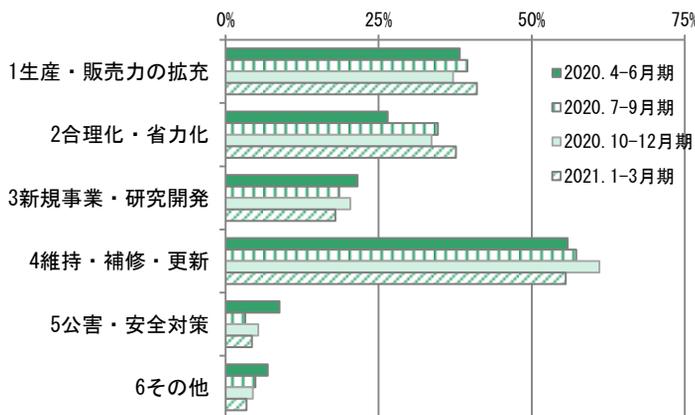


設備投資の有無

●設備投資の有無



●設備投資の目的 (複数回答)



業種別分類集計①

(単位: %)

四半期別	2020年7-9月期				2020年10-12月期				2021年1-3月期				
	前期実績				当期実績				来期見通し				
	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. ①-③	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 前期比 ①-③	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易 ①	不変 ②	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難 ③	D.I. 今期比 ①-③
業況	9.1	24.3	66.6	▲ 57.5	16.0	31.9	52.1	▲ 36.1	▲ 32.5	15.2	39.9	44.9	▲ 29.7
製造業	9.6	13.6	76.8	▲ 67.2	16.5	20.9	62.6	▲ 46.1	▲ 41.9	15.7	35.7	48.7	▲ 33.0
繊維	3.7	11.1	85.2	▲ 81.5	12.5	12.5	75.0	▲ 62.5	▲ 44.4	12.5	45.8	41.7	▲ 29.2
機械	6.5	29.0	64.5	▲ 58.0	16.7	33.3	50.0	▲ 33.3	▲ 45.2	16.7	38.9	44.4	▲ 27.7
眼鏡	10.0	10.0	80.0	▲ 70.0	12.5	12.5	75.0	▲ 62.5	▲ 40.0	12.5	37.5	50.0	▲ 37.5
化学	0.0	25.0	75.0	▲ 75.0	25.0	50.0	25.0	0.0	▲ 50.0	25.0	75.0	0.0	▲ 25.0
その他	15.1	5.7	79.2	▲ 64.1	18.0	19.7	62.3	▲ 44.3	▲ 38.4	16.4	27.9	55.7	▲ 39.3
非製造業	8.9	29.3	61.9	▲ 53.0	15.7	36.7	47.6	▲ 31.9	▲ 28.1	15.0	41.7	43.2	▲ 28.2
建設業	13.3	50.7	36.0	▲ 22.7	13.0	49.3	37.7	▲ 24.7	▲ 26.7	10.1	43.5	46.4	▲ 36.3
各種サービス業	9.8	16.4	73.8	▲ 64.0	15.0	23.3	61.7	▲ 46.7	▲ 4.9	13.6	39.0	47.5	▲ 33.9
卸・小売業	7.7	15.4	76.9	▲ 69.2	19.3	29.8	50.9	▲ 31.6	▲ 45.2	18.4	36.8	44.7	▲ 26.3
情報通信業	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0	11.1	55.6	33.3	▲ 22.2	▲ 20.0	11.1	77.8	11.1	▲ 0.0
不動産業	0.0	55.0	45.0	▲ 45.0	6.7	73.3	20.0	▲ 13.3	▲ 20.0	20.0	60.0	20.0	▲ 0.0
売上(工事)高	12.2	23.9	63.9	▲ 51.7	15.9	31.5	52.6	▲ 36.7	▲ 33.0	14.6	37.0	48.4	▲ 33.8
製造業	14.4	10.4	75.2	▲ 60.8	16.5	21.7	61.7	▲ 45.2	▲ 40.3	13.0	37.4	49.6	▲ 36.6
繊維	3.7	7.4	88.9	▲ 85.2	12.5	12.5	75.0	▲ 62.5	▲ 44.5	8.3	50.0	41.7	▲ 33.4
機械	16.1	29.0	54.8	▲ 38.7	16.7	33.3	50.0	▲ 33.3	▲ 41.9	11.1	55.6	33.3	▲ 22.2
眼鏡	10.0	10.0	80.0	▲ 70.0	12.5	12.5	75.0	▲ 62.5	▲ 20.0	12.5	37.5	50.0	▲ 37.5
化学	25.0	0.0	75.0	▲ 50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	▲ 50.0	25.0	25.0	50.0	▲ 25.0
その他	18.9	1.9	79.2	▲ 60.3	16.4	24.6	59.0	▲ 42.6	▲ 40.4	14.8	27.9	57.4	▲ 42.6
非製造業	11.2	30.2	58.6	▲ 47.4	15.6	35.7	48.7	▲ 33.1	▲ 29.5	15.2	36.9	47.9	▲ 32.7
建設業	14.7	49.3	36.0	▲ 21.3	15.9	42.0	42.0	▲ 26.1	▲ 28.4	11.6	36.2	52.2	▲ 40.6
各種サービス業	11.9	18.6	69.5	▲ 57.6	13.6	25.4	61.0	▲ 47.4	▲ 6.8	13.6	33.9	52.5	▲ 38.9
卸・小売業	10.6	16.3	73.1	▲ 62.5	18.0	31.5	50.5	▲ 32.5	▲ 44.2	17.1	33.3	49.5	▲ 32.4
情報通信業	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0	11.1	55.6	33.3	▲ 22.2	▲ 30.0	33.3	55.6	11.1	▲ 22.2
不動産業	5.0	60.0	35.0	▲ 30.0	6.7	66.7	26.7	▲ 20.0	▲ 25.0	13.3	66.7	20.0	▲ 6.7
収益	10.7	27.2	62.2	▲ 51.5	16.8	35.7	47.5	▲ 30.7	▲ 33.4	13.9	42.8	43.3	▲ 29.4
製造業	9.6	18.4	72.0	▲ 62.4	16.7	28.1	55.3	▲ 38.6	▲ 43.5	13.2	40.4	46.5	▲ 33.3
繊維	3.7	7.4	88.9	▲ 85.2	13.0	13.0	73.9	▲ 60.9	▲ 55.6	13.0	43.5	43.5	▲ 30.5
機械	12.9	35.5	51.6	▲ 38.7	16.7	44.4	38.9	▲ 22.2	▲ 42.0	16.7	50.0	33.3	▲ 16.6
眼鏡	10.0	10.0	80.0	▲ 70.0	12.5	25.0	62.5	▲ 50.0	▲ 20.0	12.5	37.5	50.0	▲ 37.5
化学	0.0	25.0	75.0	▲ 75.0	50.0	0.0	50.0	0.0	▲ 50.0	25.0	50.0	25.0	▲ 0.0
その他	11.3	15.1	73.6	▲ 62.3	16.4	31.1	52.5	▲ 36.1	▲ 42.3	11.5	36.1	52.5	▲ 41.0
非製造業	11.2	31.2	57.6	▲ 46.4	16.9	39.0	44.2	▲ 27.3	▲ 28.8	14.2	43.8	41.9	▲ 27.7
建設業	13.3	50.7	36.0	▲ 22.7	15.9	44.9	39.1	▲ 23.2	▲ 31.0	7.2	43.5	49.3	▲ 42.1
各種サービス業	11.5	16.4	72.1	▲ 60.6	16.7	26.7	56.7	▲ 40.0	▲ 14.8	13.3	45.0	41.7	▲ 28.4
卸・小売業	11.5	17.3	71.2	▲ 59.7	19.3	34.2	46.5	▲ 27.2	▲ 38.4	18.4	38.6	43.0	▲ 24.6
情報通信業	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	11.1	55.6	33.3	▲ 22.2	▲ 30.0	22.2	55.6	22.2	▲ 0.0
不動産業	5.3	68.4	26.3	▲ 21.0	6.7	86.7	6.7	0.0	▲ 10.5	13.3	73.3	13.3	▲ 0.0
受注残高	8.4	27.2	64.5	▲ 56.1	12.9	35.1	52.0	▲ 39.1	▲ 39.8	11.8	36.6	51.6	▲ 39.8
製造業	8.1	15.3	76.6	▲ 68.5	8.7	30.1	61.2	▲ 52.5	▲ 40.6	9.7	39.8	50.5	▲ 40.8
繊維	3.7	7.4	88.9	▲ 85.2	8.3	20.8	70.8	▲ 62.5	▲ 55.6	8.3	50.0	41.7	▲ 33.4
機械	3.6	25.0	71.4	▲ 67.8	17.6	41.2	41.2	▲ 23.6	▲ 42.8	11.8	47.1	41.2	▲ 29.4
眼鏡	0.0	12.5	87.5	▲ 87.5	0.0	14.3	85.7	▲ 85.7	▲ 50.0	0.0	57.1	42.9	▲ 42.9
化学	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0
その他	15.2	15.2	69.6	▲ 54.4	7.4	33.3	59.3	▲ 51.9	▲ 28.2	11.1	31.5	57.4	▲ 46.3
非製造業	8.5	34.7	56.8	▲ 48.3	15.3	38.1	46.6	▲ 31.3	▲ 39.2	13.1	34.7	52.3	▲ 39.2
建設業	15.7	41.4	42.9	▲ 27.2	15.4	35.4	49.2	▲ 33.8	▲ 35.7	10.8	29.2	60.0	▲ 49.2
各種サービス業	0.0	39.1	60.9	▲ 60.9	12.5	25.0	62.5	▲ 50.0	▲ 34.8	4.2	25.0	70.8	▲ 66.6
卸・小売業	4.3	17.4	78.3	▲ 74.0	18.2	37.7	44.2	▲ 26.0	▲ 49.3	19.5	33.8	46.8	▲ 27.3
情報通信業	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	0.0	100.0	0.0	▲ 0.0
不動産業	10.0	90.0	0.0	▲ 10.0	0.0	100.0	0.0	0.0	▲ 10.0	0.0	100.0	0.0	▲ 0.0

業種別分類集計②

(単位:%)

四半期別	2020年7-9月期				2020年10-12月期					2021年1-3月期					
	前期実績				当期実績					来期見通し					
	状況	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	
項目	①	②	③	①-③	①	②	③	前期比	①-③	①	②	③	今期比	①-③	
製(商)品販売価格	5.5	77.5	17.0	▲11.5	9.2	76.9	13.9	↑	▲4.7	▲9.3	5.0	79.2	15.8	↓	▲10.8
製造業	2.4	79.7	17.9	▲15.5	5.3	84.2	10.5	↑	▲5.2	▲15.5	1.8	86.0	12.3	↓	▲10.5
繊維	3.7	85.2	11.1	▲7.4	4.2	91.7	4.2	↑	0.0	▲11.1	4.2	83.3	12.5	↓	▲8.3
機械	0.0	66.7	33.3	▲33.3	0.0	77.8	22.2	↑	▲22.2	▲26.7	0.0	83.3	16.7	↑	▲16.7
眼鏡	0.0	80.0	20.0	▲20.0	12.5	87.5	0.0	↑	12.5	▲20.0	0.0	87.5	12.5	↓	▲12.5
化学	0.0	75.0	25.0	▲25.0	25.0	75.0	0.0	↑	25.0	0.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
その他	3.8	84.6	11.5	▲7.7	5.0	83.3	11.7	↑	▲6.7	▲11.7	1.7	86.7	11.7	↓	▲10.0
非製造業	7.1	76.3	16.6	▲9.5	11.0	73.6	15.4	↑	▲4.4	▲6.2	6.5	76.1	17.4	↓	▲10.9
建設業	4.7	81.3	14.1	▲9.4	6.8	76.3	16.9	↓	▲10.1	▲14.1	5.0	71.7	23.3	↓	▲18.3
各種サービス業	6.0	80.0	14.0	▲8.0	7.5	69.8	22.6	↓	▲15.1	6.0	0.0	83.0	17.0	↓	▲17.0
卸・小売業	10.9	66.3	22.8	▲11.9	17.0	68.8	14.3	↑	2.7	▲8.9	11.6	70.5	17.9	↓	▲6.3
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
不動産業	0.0	94.1	5.9	▲5.9	0.0	100.0	0.0	↑	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
原材料(仕入・資材)価格	19.9	72.3	7.8	12.1	18.0	74.7	7.4	↓	10.6	12.2	18.5	74.7	6.8	↑	11.7
製造業	20.3	69.1	10.6	9.7	14.8	75.7	9.6	↓	5.2	9.0	15.7	77.4	7.0	↑	8.7
繊維	23.1	76.9	0.0	23.1	12.5	75.0	12.5	↓	0.0	11.6	4.2	87.5	8.3	↓	▲4.1
機械	16.1	71.0	12.9	3.2	22.2	72.2	5.6	↑	16.6	12.9	16.7	77.8	5.6	↓	11.1
眼鏡	50.0	50.0	0.0	50.0	12.5	87.5	0.0	↓	12.5	30.0	12.5	87.5	0.0	→	12.5
化学	0.0	75.0	25.0	▲25.0	25.0	50.0	25.0	↑	0.0	25.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
その他	17.3	67.3	15.4	1.9	13.1	77.0	9.8	↑	3.3	0.0	21.3	70.5	8.2	↑	13.1
非製造業	19.7	73.9	6.4	13.3	19.4	74.2	6.3	↓	13.1	13.7	19.8	73.5	6.7	→	13.1
建設業	23.9	76.1	0.0	23.9	24.2	71.2	4.5	↓	19.7	14.1	23.9	68.7	7.5	↓	16.4
各種サービス業	9.6	82.7	7.7	1.9	15.1	75.5	9.4	↑	5.7	19.2	18.9	77.4	3.8	↑	15.1
卸・小売業	26.0	63.0	11.0	15.0	21.6	71.2	7.2	↓	14.4	15.0	20.7	70.3	9.0	↓	11.7
情報通信業	0.0	88.9	11.1	▲11.1	12.5	87.5	0.0	↑	12.5	▲11.1	12.5	87.5	0.0	→	12.5
不動産業	5.9	94.1	0.0	5.9	0.0	100.0	0.0	↓	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	→	0.0
在庫	15.8	56.9	27.3	▲11.5	12.4	66.4	21.2	↑	▲8.8	▲11.2	9.1	70.8	20.1	↓	▲11.0
製造業	22.2	40.7	37.0	▲14.8	15.6	56.9	27.5	↑	▲11.9	▲12.1	11.9	65.1	22.9	↑	▲11.0
繊維	20.0	24.0	56.0	▲36.0	25.0	45.8	29.2	↑	▲4.2	▲28.0	20.8	58.3	20.8	↑	0.0
機械	20.0	40.0	40.0	▲20.0	0.0	64.7	35.3	↓	▲35.3	▲16.0	5.9	58.8	35.3	↑	▲29.4
眼鏡	25.0	25.0	50.0	▲25.0	12.5	50.0	37.5	→	▲25.0	▲37.5	0.0	62.5	37.5	↓	▲37.5
化学	75.0	25.0	0.0	75.0	25.0	50.0	25.0	↓	0.0	25.0	25.0	50.0	50.0	↓	▲25.0
その他	19.6	54.3	26.1	▲6.5	16.1	60.7	23.2	↓	▲7.1	0.0	10.7	73.2	16.1	↑	▲5.4
非製造業	12.2	66.1	21.7	▲9.5	10.6	71.7	17.7	↑	▲7.1	▲10.7	7.5	73.9	18.6	↓	▲11.1
建設業	3.7	87.0	9.3	▲5.6	6.3	83.3	10.4	↑	▲4.1	▲9.2	2.0	79.6	18.4	↓	▲16.4
各種サービス業	8.3	62.5	29.2	▲20.9	16.0	56.0	28.0	↑	▲12.0	▲12.5	16.0	64.0	20.0	↓	▲4.0
卸・小売業	18.9	51.6	29.5	▲10.6	11.7	68.5	19.8	↑	▲8.1	▲11.7	9.0	71.2	19.8	↓	▲10.8
情報通信業	0.0	100.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	↑	20.0	0.0	0.0	80.0	20.0	↓	▲20.0
不動産業	9.1	81.8	9.1	0.0	0.0	88.9	11.1	↑	▲11.1	▲9.1	0.0	100.0	0.0	↑	0.0
雇用者	23.3	59.5	17.2	6.1	20.4	61.0	18.6	↓	1.8	1.8	14.9	73.3	11.8	↑	3.1
製造業	19.5	57.7	22.8	▲3.3	16.5	60.9	22.6	↓	▲6.1	▲1.7	10.4	73.0	16.5	→	▲6.1
繊維	14.8	66.7	18.5	▲3.7	29.2	50.0	20.8	↑	8.4	▲14.8	8.3	70.8	20.8	↑	▲12.5
機械	20.0	56.7	23.3	▲3.3	11.1	66.7	22.2	↓	▲11.1	▲3.4	16.7	61.1	22.2	↓	▲5.5
眼鏡	22.2	55.6	22.2	0.0	12.5	50.0	37.5	↓	▲25.0	▲22.2	0.0	75.0	25.0	→	▲25.0
化学	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	→	50.0	25.0	0.0	100.0	0.0	↓	0.0
その他	18.9	54.7	26.4	▲7.5	11.5	65.6	23.0	↓	▲11.5	7.8	11.5	75.4	13.1	↑	▲1.6
非製造業	25.1	60.3	14.6	10.5	22.1	61.0	16.9	↓	5.2	3.4	16.9	73.4	9.7	↑	7.2
建設業	22.7	66.7	10.7	12.0	26.1	66.7	7.2	↑	18.9	8.0	14.5	78.3	7.2	↓	7.3
各種サービス業	21.3	52.5	26.2	▲4.9	15.0	51.7	33.3	↑	▲18.3	0.0	21.7	65.0	13.3	↑	8.4
卸・小売業	27.7	61.4	10.9	16.8	21.9	60.5	17.5	↓	4.4	2.0	14.9	74.6	10.5	→	4.4
情報通信業	70.0	10.0	20.0	50.0	66.7	33.3	0.0	↑	66.7	▲10.0	11.1	77.8	11.1	↓	0.0
不動産業	10.0	80.0	10.0	0.0	6.7	93.3	0.0	↑	6.7	10.0	26.7	73.3	0.0	↑	26.7
資金繰り	13.1	71.6	15.2	▲2.1	13.4	76.6	10.0	↑	3.4	▲3.6	11.1	77.1	11.8	↓	▲0.7
製造業	8.9	68.3	22.8	▲13.9	7.8	79.1	13.0	↑	▲5.2	▲11.5	7.8	78.3	13.9	↓	▲6.1
繊維	7.4	48.1	44.4	▲37.0	8.3	58.3	33.3	↑	▲25.0	▲25.9	8.3	62.5	29.2	↓	▲20.9
機械	16.7	70.0	13.3	3.4	16.7	77.8	5.6	↑	11.1	▲13.4	11.1	61.1	27.8	↓	▲16.7
眼鏡	0.0	77.8	22.2	▲22.2	0.0	87.5	12.5	↑	▲12.5	▲11.1	0.0	100.0	0.0	↑	0.0
化学	0.0	100.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	↑	25.0	0.0	25.0	75.0	0.0	→	25.0
その他	7.5	73.6	18.9	▲11.4	4.9	86.9	8.2	↑	▲3.3	▲3.8	6.6	86.9	6.6	↑	0.0
非製造業	15.1	73.2	11.7	3.4	15.8	75.5	8.7	↑	7.1	0.0	12.5	76.6	10.9	↓	1.6
建設業	13.3	78.7	8.0	5.3	15.9	76.8	7.2	↑	8.7	1.3	10.1	79.7	10.1	↓	0.0
各種サービス業	19.7	59.0	21.3	▲1.6	21.7	65.0	13.3	↑	8.4	▲3.3	21.7	68.3	10.0	↑	11.7
卸・小売業	16.0	73.0	11.0	5.0	14.2	77.0	8.8	↑	5.4	▲1.0	9.7	76.1	14.2	↓	▲4.5
情報通信業	11.1	77.8	11.1	0.0	12.5	87.5	0.0	↑	12.5	11.1	12.5	87.5	0.0	→	12.5
不動産業	5.0	95.0	0.0	5.0	6.7	93.3	0.0	↑	6.7	5.0	6.7	93.3	0.0	→	6.7

地域別分類集計

(単位:%)

四半期別	2020年7-9月期				2020年10-12月期						2021年1-3月期				
	前期実績				今期実績						来期見通し				
	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.	前回 調査時 今期 見通し	良くなる 増加 多い 上昇 増員 容易	不変	悪くなる 減少 少ない 低下 減員 困難	D.I.		
項目	①	②	③	①-③	①	②	③	前期比	①-③	①	②	③	今期比	①-③	
業況	9.1	24.3	66.6	▲ 57.5	16.0	31.9	52.1	↑	▲ 36.1	▲ 32.5	15.2	39.9	44.9	↑	▲ 29.7
福井地区	7.9	21.3	70.8	▲ 62.9	15.6	28.3	56.1	↑	▲ 40.5	▲ 34.3	14.5	41.9	43.6	↑	▲ 29.1
坂井地区	14.0	18.6	67.4	▲ 53.4	20.5	27.3	52.3	↑	▲ 31.8	▲ 21.5	18.2	38.6	43.2	↑	▲ 25.0
丹南地区	11.1	21.1	67.8	▲ 56.7	15.7	31.3	53.0	↑	▲ 37.3	▲ 27.7	13.3	37.3	49.4	↑	▲ 36.1
奥越地区	0.0	23.1	76.9	▲ 76.9	0.0	22.2	77.8	↓	▲ 77.8	▲ 38.4	22.2	22.2	55.6	↑	▲ 33.4
嶺南地区	8.5	39.4	52.1	▲ 43.6	16.4	45.2	38.4	↑	▲ 22.0	▲ 39.4	16.4	41.1	42.5	↓	▲ 26.1
売上(工事)高	12.2	23.9	63.9	▲ 51.7	15.9	31.5	52.6	↑	▲ 36.7	▲ 33.0	14.6	37.0	48.4	↑	▲ 33.8
福井地区	9.6	22.6	67.8	▲ 58.2	17.1	27.1	55.9	↑	▲ 38.8	▲ 36.7	14.1	37.1	48.8	↑	▲ 34.7
坂井地区	21.4	21.4	57.1	▲ 35.7	13.6	31.8	54.5	↓	▲ 40.9	▲ 24.3	18.2	34.1	47.7	↑	▲ 29.5
丹南地区	16.7	18.9	64.4	▲ 47.7	14.6	35.4	50.0	↑	▲ 35.4	▲ 25.8	12.2	37.8	50.0	↓	▲ 37.8
奥越地区	0.0	23.1	76.9	▲ 76.9	0.0	22.2	77.8	↓	▲ 77.8	▲ 30.7	22.2	22.2	55.6	↑	▲ 33.4
嶺南地区	9.9	35.2	54.9	▲ 45.0	17.8	38.4	43.8	↑	▲ 26.0	▲ 38.0	15.1	39.7	45.2	↓	▲ 30.1
収益	10.7	27.2	62.2	▲ 51.5	16.8	35.7	47.5	↑	▲ 30.7	▲ 33.4	13.9	42.8	43.3	↑	▲ 29.4
福井地区	6.8	26.0	67.2	▲ 60.4	15.6	31.8	52.6	↑	▲ 37.0	▲ 39.0	12.7	44.5	42.8	↑	▲ 30.1
坂井地区	16.3	25.6	58.1	▲ 41.8	18.6	30.2	51.2	↑	▲ 32.6	▲ 28.6	18.6	39.5	41.9	↑	▲ 23.3
丹南地区	14.4	24.4	61.1	▲ 46.7	14.5	36.1	49.4	↑	▲ 34.9	▲ 20.3	10.8	42.2	47.0	↓	▲ 36.2
奥越地区	0.0	23.1	76.9	▲ 76.9	0.0	33.3	66.7	↑	▲ 66.7	▲ 46.1	22.2	22.2	55.6	↑	▲ 33.4
嶺南地区	14.1	35.2	50.7	▲ 36.6	23.3	47.9	28.8	↑	▲ 5.5	▲ 36.6	16.4	43.8	39.7	↓	▲ 23.3
受注残高	8.4	27.2	64.5	▲ 56.1	12.9	35.1	52.0	↑	▲ 39.1	▲ 39.8	11.8	36.6	51.6	↓	▲ 39.8
福井地区	8.7	28.6	62.7	▲ 54.0	14.5	33.1	52.4	↑	▲ 37.9	▲ 44.5	11.3	34.7	54.0	↓	▲ 42.7
坂井地区	8.0	24.0	68.0	▲ 60.0	6.7	33.3	60.0	↑	▲ 53.3	▲ 40.0	10.0	36.7	53.3	↑	▲ 43.3
丹南地区	7.1	25.7	67.1	▲ 60.0	7.8	37.5	54.7	↑	▲ 46.9	▲ 30.0	10.9	43.8	45.3	↑	▲ 34.4
奥越地区	0.0	10.0	90.0	▲ 90.0	0.0	37.5	62.5	↑	▲ 62.5	▲ 40.0	37.5	12.5	50.0	↑	▲ 12.5
嶺南地区	10.7	30.4	58.9	▲ 48.2	20.8	37.7	41.5	↑	▲ 20.7	▲ 41.1	11.3	35.8	52.8	↓	▲ 41.5
製(商)品販売価格	5.5	77.5	17.0	▲ 11.5	9.2	76.9	13.9	↑	▲ 4.7	▲ 9.3	5.0	79.2	15.8	↓	▲ 10.8
福井地区	6.5	78.0	15.5	▲ 9.0	7.9	78.2	13.9	↑	▲ 6.0	▲ 11.3	7.2	75.9	16.9	↓	▲ 9.7
坂井地区	5.1	66.7	28.2	▲ 23.1	11.9	69.0	19.0	↑	▲ 7.1	▲ 10.5	2.4	81.0	16.7	↓	▲ 14.3
丹南地区	6.0	78.3	15.7	▲ 9.7	8.8	82.5	8.8	↑	0.0	▲ 7.3	3.8	81.3	15.0	↓	▲ 11.2
奥越地区	0.0	84.6	15.4	▲ 15.4	12.5	75.0	12.5	↑	0.0	▲ 15.4	0.0	75.0	25.0	↓	▲ 25.0
嶺南地区	3.3	80.3	16.4	▲ 13.1	10.8	72.3	16.9	↑	▲ 6.1	▲ 4.9	3.1	84.6	12.3	↓	▲ 9.2
原材料(仕入・資材)価格	19.9	72.3	7.8	▲ 12.1	18.0	74.7	7.4	↓	10.6	12.2	18.5	74.7	6.8	↑	▲ 11.7
福井地区	17.2	76.9	5.9	▲ 11.3	18.9	74.4	6.7	↑	12.2	10.7	20.6	73.3	6.1	↑	▲ 14.5
坂井地区	20.5	69.2	10.3	▲ 10.2	17.1	73.2	9.8	↓	7.3	15.8	14.6	75.6	9.8	↓	▲ 4.8
丹南地区	23.0	67.8	9.2	▲ 13.8	15.7	77.1	7.2	↓	8.5	13.8	18.1	74.7	7.2	↑	▲ 10.9
奥越地区	8.3	83.3	8.3	0.0	0.0	88.9	11.1	↓	▲ 11.1	0.0	11.1	88.9	0.0	↑	▲ 11.1
嶺南地区	24.6	66.2	9.2	▲ 15.4	21.4	71.4	7.1	↓	14.3	13.9	17.1	75.7	7.1	↓	▲ 10.0
在庫	15.8	56.9	27.3	▲ 11.5	12.4	66.4	21.2	↑	▲ 8.8	▲ 11.2	9.1	70.8	20.1	↓	▲ 11.0
福井地区	12.2	58.0	29.8	▲ 17.6	12.5	65.4	22.1	↑	▲ 9.6	▲ 16.0	10.2	68.6	21.2	↓	▲ 11.0
坂井地区	20.8	50.0	29.2	▲ 8.4	21.9	56.3	21.9	↑	0.0	▲ 8.3	15.6	59.4	25.0	↓	▲ 9.4
丹南地区	21.6	45.9	32.4	▲ 10.8	12.0	69.3	18.7	↑	▲ 6.7	▲ 5.4	5.3	80.0	14.7	↓	▲ 9.4
奥越地区	0.0	70.0	30.0	▲ 30.0	0.0	85.7	14.3	↑	▲ 14.3	▲ 10.0	14.3	85.7	0.0	↑	▲ 14.3
嶺南地区	17.2	69.0	13.8	▲ 3.4	8.8	68.4	22.8	↓	▲ 14.0	▲ 8.7	7.0	68.4	24.6	↓	▲ 17.6
雇用者	23.3	59.5	17.2	▲ 6.1	20.4	61.0	18.6	↓	1.8	1.8	14.9	73.3	11.8	↑	▲ 3.1
福井地区	23.4	60.6	16.0	▲ 7.4	21.4	57.8	20.8	↓	0.6	▲ 0.6	11.6	75.1	13.3	↓	▲ 1.7
坂井地区	20.9	62.8	16.3	▲ 4.6	25.0	54.5	20.5	↓	4.5	▲ 7.2	11.4	75.0	13.6	↓	▲ 2.2
丹南地区	27.0	58.4	14.6	▲ 12.4	20.5	65.1	14.5	↓	6.0	10.1	15.7	73.5	10.8	↓	▲ 4.9
奥越地区	15.4	61.5	23.1	▲ 7.7	11.1	55.6	33.3	↓	▲ 22.2	7.7	22.2	55.6	22.2	↑	0.0
嶺南地区	21.4	55.7	22.9	▲ 1.5	16.4	68.5	15.1	↑	1.3	1.4	23.3	69.9	6.8	↑	▲ 16.5
資金繰り	13.1	71.6	15.2	▲ 2.1	13.4	76.6	10.0	↑	3.4	▲ 3.6	11.1	77.1	11.8	↓	▲ 0.7
福井地区	12.1	72.4	15.5	▲ 3.4	14.5	76.2	9.3	↑	5.2	▲ 2.9	12.8	75.6	11.6	↓	▲ 1.2
坂井地区	16.7	64.3	19.0	▲ 2.3	14.0	74.4	11.6	↑	2.4	▲ 2.4	14.0	72.1	14.0	↓	0.0
丹南地区	11.2	77.5	11.2	0.0	7.2	81.9	10.8	↓	▲ 3.6	▲ 1.1	6.0	80.7	13.3	↓	▲ 7.3
奥越地区	0.0	61.5	38.5	▲ 38.5	0.0	77.8	22.2	↑	▲ 22.2	▲ 38.5	0.0	88.9	11.1	↑	▲ 11.1
嶺南地区	18.6	68.6	12.9	▲ 5.7	19.2	72.6	8.2	↑	11.0	▲ 2.8	12.3	78.1	9.6	↓	▲ 2.7

最近の業況や景気動向に関する主な意見 ①

業種	自由意見
製造業	コロナの前に働き方改革により、仕事はやりにくくなった。伝統工芸、日本のモノづくりを知らない政府は、大企業、公務員に合わせたシステムは日本文化のモノづくり産業には合わないです。伝統産業は利益が薄く、働く喜びで続けています。働き方もいろいろあることを知っていただきたい。
製造業	新幹線特需がなくなり、今後どうなるかが不安なところはある。
製造業	国の政策が全くなっていない。
製造業	コロナ禍の影響大である。
製造業	来年はより一層厳しさを増す。
製造業	とにかくコロナ収束を願う事。
製造業	自力だけでは景気に繋がらないので、政府や公共団体の協力が重要だと思います。
製造業	海外生産を本社に戻しても、日本人のモノづくり感が失われており、ゆとり教育のツケが大きな打撃となる。モノづくり日本がなくなると、どんな手を打っても、元に戻らないだろう。
製造業	コロナの影響によりインバウンドの回復は長期化すると考えられ、数年間は100%には戻せない。国内強化の新たな策も考える必要がある。
製造業	現状、自動車関連業については、業績は回復してきています。ただし、今後のコロナ第3波の状況次第では、どうなるか不透明です。
製造業	コロナ禍の出口が見えない。国内、海外の受注回復を待つ状態。生産調整(休業)→雇用調整が来春から始まる感じ(必要性を感じる)。
製造業	現況コロナ禍の先行きが見出せない中での業況悪影響を受けることはあるが、来年はワクチン開発が進みコロナ収束とアメリカ新大統領政権発足を機に世界全体経済が活況を取り戻すことを切に願うばかりです。
製造業	コロナの影響で今後の受注の見通しがつかない。
製造業	コロナ禍において受注不足が2021年前半までは続くと思われる。コロナ収束後の北陸産地の存続に不安。
建設業	コロナの影響がじわじわ出てきた。
建設業	建設業界の現況をおぞましく思っている(業者も役所に対しても)。
建設業	新型コロナ禍の下、建設業界のみならず、経済全体に沈滞感は免れません。一日も早いコロナ撲滅の日が来ることを祈るばかりです。
建設業	差当り受注価格の低下が目立つ。
建設業	コロナの影響が長期化すれば、2021年の受注に心配な面がある。
建設業	コロナ対策に国、地方自治体が予算を使っている。並びに今後も増加すると考えられる。よって、公共工事に対する予算が少なくなると考えられるので、今後は建設業の業況は悪化する見通しである。
建設業	2020年6月期はメタルビル部門の完成工事高が大幅に増加、増収・増益となった。2021年6月期は売上・収益ともに例年並みを見込む。建設業界においてはコロナの影響もあり、建設投資も減少傾向。段階的に下振れのリスクには十分注意が必要と感じる。
建設業	感染症の影響が少ない業種と思われるが、第3波到来など、先行きの不透明さから、顧客購買意欲の減退があると思われる。
建設業	北陸新幹線工事もおおむね終了して、コロナ禍で、設備投資が大きく落ち込んでいる中、大きな工事の受注が県内では見込めないで、県外の工事を受けて、4~5か月は食いつなげる予定です。
建設業	コロナ禍の長期による年明け以降の動向が気がかりである。
建設業	コロナ禍による公共工事発注の減少と国土強靱化政策の5年延長でどうなるか判明しない。
建設業	建設業という業種の特性から、現状の業況に大きな変動は感じないが、今後の動向については、どこまで落ち込むのか、予想が難しいと感じている。
建設業	経済活動が早く安定しないと、不安要素ばかりの中では、住宅建築は良くならない。新型コロナの鎮静はいつになるのか？今後大きく経済が後退しそうで不安！！
卸・小売業	政府のコロナ対策・・・？早く実行すること。
卸・小売業	業界が著しく低迷している為、売上が伸び悩んでいる。また、自社開発製品も引き合いはあるが発注は少ないため、業績が悪い。
卸・小売業	衣料業界は悪すぎて、どうにもならなくなってます。年末、3月と倒産が増えると思う。令和と生き残る為に必死です。
卸・小売業	コロナの動向で全てが変わってしまうので、先行の予測が全く立たなくなり、ただ、飲食業は淘汰が進むだろう。観光も宿泊も、サービス業も駄目だと思う。新しい形の経済が見えないのが不安である。

最近の業況や景気動向に関する主な意見 ②

業種	自由意見
卸・小売業	コロナ禍の中厳しい状況ではありますが、チャンスにつながるものを模索して行きたい。
卸・小売業	コロナ禍、世界的にほぼゼロ金利ベースで2~3年見込まれているが、その後の反動(高金利)があると、苦しさを感じている。
卸・小売業	食に携わる業界なので、コロナ感染での業務への影響は、ある意味プラスに移行している部分もある。しかし、依然として経費が膨れ上がり、それに伴って収益が上がっていない状況が続いている。
卸・小売業	リテールサポート業務を強化し、地場食品流通業、SM企業と連携を強化する。福井の食品流通については、県外大手、ドラッグストアの進出、出店が続く。開発情報から予想しても、ドミナント出店が続き、エリアマーケティングの結果においても、20%以上の売上シェアを来期、県外DSが吸引する目途である。ディスカウントが進み、操業コストを極限まで合理化している。地場資本の資本提携、MAが進むことになる。食品流通事業を地場産業として確保する為の方針を確実に進めてまいります。全国的にも当社の存在が稀である事からも、勇気づけられる。
卸・小売業	医療機器の外来症例数が減少したままの中で、コロナ禍との戦いは長期戦となれば、消耗器材類の売上減は必須。AIやICTがトピックスだが、我がデンタル関係も、CTやスキャナーの計測データを基にしたCAD/CAMや3Dプリンターの分野で拡売に繋げていきたい。
卸・小売業	今後の状況はコロナ次第。これにつきる。
卸・小売業	安売りで日本の製造業が体力を失ってしまった状況で、景気が上昇することは無いと思う。体力勝負で生き残った会社のみ残る。
卸・小売業	分野によって良い悪いという所があるように感じております。二極化は今後益々進んでいくのではないかと危惧しております。様々な分野のお客さまへ裾野を広げていくべきと考えて、今後の販売戦力を決めていきます。
卸・小売業	どうしてもコロナの感染拡大に大きく左右されますので、不透明と今は言わざるを得ません。ワクチン配布の開始、もしくは感染症指定が2類から5類に変更があれば、特に旅行品は大幅な回復を見込んでおり、今は我慢の時かと。
卸・小売業	コロナ禍で来年の予想が困難。
卸・小売業	最近の自動車補修市場の補修サイクルの長期化による需要減少に、更に、人口減少による保有台数減少で、マーケット自体減少していく流れが加速していくと感じている。コロナの影響は、補修マーケットにはあまり影響しておらず、むしろ仕事のオペレーションに多大な影響がある。
卸・小売業	ドラッグストアの出店が過激で、かつ食品(生鮮)も扱う事から、シェアの取り合いになっている。県外の新しいドラッグストアも出店することが決まっている様で、果たしてこれでよいのかと疑問に感じる。
卸・小売業	コロナ禍の影響は当分続くと思われる。仮にコロナが収束しても、V字回復は無いと思う。減量経営でやっていける体質にすることが重要と思う。
卸・小売業	自動車の電動化への技術革新が進められる折、自動車の整備販売を業とする者も、改革対応が急がれます。
卸・小売業	コロナウィルスの影響は大きいですが、政府の施策が功を奏し、業績の順調な回復が見られるが、今後が心配である。
各種サービス業	株式市場はこれからも100%上昇を続けます。景気はコロナ次第。オリンピックは中止濃厚。GoToトラベルは100%廃止の必要有。GoToEatは予算を追加して続けるべきです。医療関係者がトラベルは使えず不公平、ただしGoToEatは使えるというのが理由です。
各種サービス業	今までのビジネスモデルでは通用しない社会、市場になって来ている。新しい取組みや、発送など、スピード感が重要。今後、ますますの閉店や倒産件数が増えてくると思う。
各種サービス業	新型コロナウイルスの影響が続いております。2021年1~12月及び2022年3月頃までは厳しいと考えております。今後ともご支援いただけますようお願いいたします。
各種サービス業	コロナ禍は長期化の様相を呈しており、通勤、通学券は回復基調にあるが、従来までには戻らないと感じている。また、定期外で高齢者の外出控えにより、なかなか回復しないが、この状況が続いていく事を前提に収益構造に見直しを図っていかないといけないと感じる。
各種サービス業	静脈産業なので即座に世相による影響はないが、不規則な価格変動により、BSやPLに跳ね返って来る事もある。骨太の資金繰りが必要!
各種サービス業	コロナ禍による予算の減少が心配である。特に地方自治体の財政が心配である。
各種サービス業	コロナ禍で不透明なところもありますが、逆に限られた(抑制)状況の中、しっかりしたコロナ対策の上、足元を固める時期であると思っております。
各種サービス業	この環境下で、旅行業は全く先が見えず、タクシー事業もようやく昨対比7割程度まで戻ってきた状況の中で、昨年度より取組んでいる企業送迎バス需要が拡大し、今の所、経営は順調に推移しています。
各種サービス業	IT・AIなど、今まで自分たちで取り組んだことのない分野への知識が必要な時代になってきた。日曜大工をするような感覚で自社に特化したAIを開発することになるだろう。
不動産業	不透明。
不動産業	未だコロナ収束の見通しがつかず、以前の水準まで回復するか予想できない状況。